

23

富田文庫目録

金沢市立図書館

は し が き

昭和50年春、藩政期の金沢で俳諧の家系として知られた、「館屋」(たちや)の子孫にあたる富田浩正氏から、同家ゆかりの古俳書・日記・書簡などの資料や蔵書が、金沢市に寄贈された。

これまで、加越能の俳諧史において明確さを欠いていた、館屋如柳系統の文献が中心になつており、特に、暮柳舎五世を継いだ宇牧や、松裏庵四世雨邨(紋岱)を中心に、この系統をめぐる車大、北基、棹江など、江戸末期の郷土俳人の資料を含んでおり、俳諧関係に貴重な資料が少ないので、一文庫として当館特殊文庫に加えることとした。

文庫の名称は「富田文庫」記号は「特23」で、総点数379、冊数にして704、ほかに参考品6点がある。

この文庫の整理は、長年当館の司書を勤められた伊藤茂氏が、昭和50年夏急逝されるまで筆を執り、大半は終えられていた。今まで特殊文庫の整理方法は区々であつたが、蒼龍館、村松、岸、加越能文庫(解説上巻)と多くを手がけられた氏の成果が実り、ほぼ決つたといえよう。

氏の最後の仕事となつたこの目録の発行にあたり、心から冥福を祈りたい。

また、当文庫の中心をなす俳諧関係資料の整理にあたり、郷土の俳文学研究者・金沢工業大学講師竹谷蒼郎先生に一方ならぬ御指導をうけた。ここに、改めて感謝の意を表する次第である。

昭和52年3月30日

金沢市立図書館長 宮 竹 広 春

富田家の系譜

富田家の遠祖は、越の大守藤原利仁公といわれ、これより二十四代富田左近利正は、一向一揆の将として、河北郡富田城（和田山城ともいう）に拠つたが、その子左衛門尉利泰が、慶長初年に名を左衛門と改め、小坂庄大樋口に居を構え、二十六代から代々権兵衛と称し、二十八代権兵衛から「館屋」を名乗つたとつたえられる。

おな、同家の菩提寺は、河北郡領家村（現在津幡町領家）の広濟寺、墓所は、金沢市山ノ上町の善導寺である。

初代 館屋権兵衛

通称長右衛門。俳諧をよくし、号を如柳、居所を松裏庵と称した。春日町で酒造を営み、俳人北枝と親交があり、のちにその門人になつている。芭蕉が奥の細道の旅に金沢を訪れた際、ともに犀川松玄庵の会に芭蕉と一座した。如柳と北枝の逸話は「俳諧世説」などにも残るが、春日町に隣りあつて住んだ宝永3年の、酒蔵の福神面にかかわる北枝真蹟が、代々家宝として伝えられ、本文庫に納められている。宝永7年（1710）没。

2代 館屋権兵衛

如柳の養嗣子。俳号如本。北枝の高弟綿屋希因に師事して、父の松裏庵をついだ。希因の没後、遺命により「北時雨」一卷を上梓し、又希因の子小寺後川が、希因の句を集めて「暮柳発句集」を刊行したとき、その校訂にあつた。明和8年（1771）没。

3代 館屋権兵衛

通称久右衛門。事蹟等あきらかでない。宝暦4年（1754）没。

4代 館屋権兵衛

如本の子ともいわれる。俳号世涼。春日町で骨董を商い、又町会所の吏をもつとめた。俳諧を小寺後川に学び、はじめ北庵と称し、後百鶴園（六世）を継いだ。文化5年（1808）没。57才。

5代 館屋権兵衛

幼名喜十郎。通称平七。俳号宇牧。横堤町に住み足袋商を営んだ。俳諧を暮柳舎三世車大に学び、後に暮柳舎（四世）をついだ。天保8年（1837）没。51才。

6代 館屋平七

幼名門二郎。浅野屋新右衛門の三男で、宇牧の養子となつた。号を雨邨といい、又雨村、紋岱、

玄暉などとも称した。俳諧のみならず漢詩にも長じ、父暮柳舎四世宇牧の死後、暮柳舎を立介に譲り、自らは松裏庵（四世）をついだ。明治になつて「富田」姓を名乗り、明治2年（1869）に金沢為替会社が設立されると、長男長右衛門と共に手代となり、明治11年（1878）には支配人兼官金係をつとめている。明治11年明治天皇北陸御巡幸に当つて、その随員の宿舎をつとめた。明治29年（1896）没。79才。

7 代 富田 長右衛門

幼名栄松。平七兩郎の長男。松栄又は松窓と号した。上堤町で茶商を営み、欣栄堂と称した。又為替会社設立により、父平七と共に手代をつとめたが、後金沢第十二国立銀行に入り計算係をつとめた。明治40年（1907）没。62才。

8 代 富田 亥七

松栄養子島野一松、鹿野夫妻の長男。号を素堂、後に子元といつた。大正中東京に転居した。昭和46年（1971）没。69才。

父島野一松は海軍一等筆記として連合艦隊旗艦三笠に塔乗、日露戦争の日本海海戦に従軍し戦傷を負うた。松栄の養嗣子となつたが、後に離籍し富田氏を継がなかつた。

9 代 富田 浩正（当主）

亥七長男。昭和4年（1929）生れ。横浜市に居住し、有限会社アサヒエンジニアリング代表役員。昭和52年現在47才。

凡 例

1. 記載はカード式による分類順とし、著者を主記入とした。
2. 分類は簡略にしたが、同一分類内の順序は、おおむね N. D. C. の細目に従った。
3. 字体は印刷の都合で、当用漢字を使用した。ゴジツクは書名である。
4. 標目の左の数字はタイトル番号で、蔵書の点数を表わし、索引はこの番号によつてなされる。
5. 標目の右の数字は請求記号である。

目 次

はしがき
富田家の系譜
凡 例

0	総 記	1	7	芸 術	18
1	哲 学	2		美 術	
	東 洋 思 想			芸 能	
	宗 教			茶 道	
2	歴史・地理	5	8	語 学	21
	歴 史		9	文 学	22
	伝 記			総 記	
	地 誌			和 歌	
3	社会科学	11		俳 諧	
	政 治・経 済			書 簡	
	教 育・風 俗			その他の日本文学	
4	自然科学	13		漢 詩 文	
	理 学		参 考 品	33	
	漢 法 医 学		書 名 索 引	35	
5	工 業	15			
6	産 業	16			
	農 政				
	商 業・交 通				

0. 総記

- 1 森田柿園（良見）（編） 23.0—1
 三州之書籍調理
 富田松栄補写 明治年間
 14丁 23.5cm 和
- 2 〔和漢書序跋目次版行抄〕 23.0—2
 写
 42丁 25cm 和
- 3 中村惕斎（之欽）（編） 23.0—3
 訓蒙図彙
 京都 村上勘兵衛 寛政1（1789）
 10冊 22.5cm 和
 目録・1・4・5・9・12・14・17・20
 ・21（端本）
 別名「頭書増補訓蒙図彙大成」
- 4 拾玉智恵海・家事心得拔萃 23.0—4
 〔富田松栄写 明治年間〕
 37丁 23cm 和
- 5 大阪新報社 23.0—5
 大阪新報号外
 大阪 大阪新報社 明治37（1904）
 1枚 19×50cm
 8月30日附，日露戦争遼陽方面の戦
 斗公報

1. 哲 学

東 洋 思 想

- | | |
|--|--|
| <p>6 溪百年(世尊) 23.1—1
 經典余師
 大坂 山口屋又一郎 寛政4
 (1792)
 2冊 23cm 和
 大学全, 四書序之部の2冊のみ</p> <p>7 故事要言追増補 23.1—2
 写
 9丁 23.5cm 和</p> <p>8 新井白蛾 23.1—3
 古易病断上
 小林函山編
 文政堂 文政5 (1822) 序
 65丁 15cm 和</p> <p>9 新井白蛾 23.1—4
 古易精義
 京都 藤井佐兵衛 [明治年間]
 53丁 18.5cm 和
 宝曆10 (1760) 版の複製</p> <p>10 真勢達富 23.1—5
 易占揆方
 阿部亀代治校正
 大阪 文栄堂 明治28 (1895)
 127丁 22cm 和</p> <p>11 真勢達富 23.1—6
 感通方諸全
 阿部亀代治補
 大阪 前川文栄堂 明治42 (1909)
 13,13,14丁 22.5cm 和
 冠称「刪補」</p> <p>12 高木 乘 23.1—7</p> | <p>河図・洛書の新研究
 東京 命理学会 昭和8 (1933)
 54P 24.5cm
 謄写印刷</p> <p>13 [極悪日之事] 23.1—8
 金沢 扇宗 刊年不明
 1枚 16.5×23cm</p> <p>14 山縣大貳(著)須藤宗次郎(編) 23.1—9
 柳子新論
 東京 洪文社 昭和3 (1928)
 52丁 24cm 和</p> <p>15 馬山樵夫(編) 23.1—10
 樵歌三十三首
 富田雨村写
 2冊 24cm 和
 馬山樵夫の三十三首の図の余白に雨
 村がそのうたを詩にして書入れたも
 の。
 別に詩のみの1冊を附す</p> <p>16 児 恋 草 23.1—11
 写
 24丁 24cm 和</p> <p>17 松平越中守殿御心附書 23.1—12
 写
 9丁 11.5×18cm 和
 後部欠の端本。松平定信の教訓</p> <p>18 [笠亭主人] 23.1—13
 実語教雅絵解
 [五雲亭貞秀画]
 江戸 山本平吉 [嘉永5 (1852)]
 45丁 18cm 和
 角書「絵入講釈」</p> |
|--|--|

宗 教

- 19 蓮花寺 23.1—14
花見ヶ岡略縁起
下野 蓮花寺 刊年不明
5丁 25cm 和
- 20 天徳院保存会 23.1—15
〔天徳院保存会設立趣意書〕
金沢 天徳院保存会 明治34(1901)
1枚 23×31.5cm
- 21 那谷寺保存会 23.1—16
那谷寺保存会設立趣意
江沼郡那谷寺保存会 明治35(1902)
1枚 26×13.5cm
- 22 佐藤巖英 23.1—17
金沢別院沿革史
富田松栄 写
30丁 24cm 和
- 23 〔加能社寺縁起等〕 23.1—18
写
18丁 23.5cm 和
持明院白鬘大明神記, 金竜山天徳
院, 仏御前の木像, 能本山総持寺,
妙音山善導寺など
- 24 富田松栄(慶哉)(編) 23.1—19
僧侶方来信聚
写
30丁 24.5cm 和
- 25 徹 雲 23.1—20
〔徹雲書状〕
自筆 明治年間
6通 16cm
富田雨邨宛
- 26 源 信 23.1—21

往 生 要 集

- 富田雨邨写
29, 33丁 23cm 和
卷上 本末のみの端本
別名「地獄物語」
- 27 平 哉航 23.1—22
九 字 之 大 事
自筆 明和7(1770)
1通 17.5cm
「多知権兵衛殿」宛
- 28 丹羽平哉航 23.1—23
護 身 法 大 事
自筆 明和7(1770)
1通 17.5cm
多知権兵衛宛
- 29 源 空 23.1—24
選 択 本 願 念 仏 集
富田雨邨写
58丁 23cm 和
- 30 善 導 23.1—25
往 生 礼 讃 偈 ・ 般 舟 讚
富田雨邨写
57丁 23cm 和
- 31 道 綽 23.1—26
安 楽 集
富田雨邨写
56丁 23cm 和
- 32 善 導 23.1—27
定 善 義 ・ 散 善 義
富田雨村写 明治年間
55丁 23cm 和
別名「観経正宗分定善義」「観経正
宗分散善義」
- 33 観念阿弥陀仏相海三昧功德法門一卷 23.1—28

- 比丘善導集記
富田雨邨写
26丁 23cm 和
- 34 真宗仮名聖教 23.1—29
写
65丁 24cm 和
存覚著「破邪顯正鈔」と蓮悟撰「蓮
如上人遺徳記」の合綴
- 35 〔真宗聖教拔萃〕 23.1—30
富田雨邨写
37丁 23cm 和
後出阿弥陀仏偈，十住毘婆沙論易行
品，十二礼讃阿弥陀仏偈，往生論註
の部分写
- 36 〔夏 御 文〕等 23.1—31
館屋宇牧写 文政10 (1827)
8丁 23cm 和
- 37 惠 空 23.1—32
叢 林 集
写
4冊 23cm 和
目録・7・8・10巻のみの端本
別名「浄土真宗叢林集」
- 38 〔板敷山内証の文〕 23.1—33
写
5丁 24.5cm 和
- 39 深山一郎 (編) 23.1—34
峨 山 逸 話
東京 編者 大正5 (1916) 3版
2, 47丁 23.5cm 和
- 40 大 智 23.1—35
大 智 偈 頌
光嚴等編
京都 貝葉書院 昭和16 (1941) 序

47丁 16cm 和
別名「祇陀開山大智禪師偈頌」

2. 歴史・地理

- | 歴 史 | | | 24丁 27cm 和 |
|-----|---|---------|------------|
| 41 | 新刻
改正 年数早見
和泉屋市兵衛 明治2 (1869)
1枚 18×25cm | 23.2—1 | |
| 42 | 〔年数早見表〕
東京 大橋堂弥七 明治5 (1872)
1枚 12.5×36cm | 23.2—2 | |
| 43 | 〔葛巻昌興有禎伝等〕
富田雨邨写
27丁 24cm 和
内容：葛巻昌興有禎伝，寺嶋応斉悲
歎，松月亭一曲，明恵聖人奇話，浅
野内匠家臣之詞，赤穂義士之詩歌な
ど | 23.2—3 | |
| 44 | 貞丈雜記抜粹
富田松栄写
16丁 23.5cm 和
伊勢貞丈著の礼法と祝儀之部抜書 | 23.2—4 | |
| 45 | 富田景周
越登賀三州志 (端本)
写
23冊 27.5cm 和
内容：韃靼余考1—13, 15—17
来因概覽 1・2, 同附録 1・3・4・5
故墟考 6 | 23.2—5 | |
| 46 | 富田景周
三州志来因概覽 卷一
写
40丁 24cm 和 | 23.2—6 | |
| 47 | 富田景周
〔三州志〕本封叙次考 下
写 | 23.2—7 | |
| 48 | 岡本慶雲
末森記
写
38丁 24cm 和 | 23.2—8 | |
| 49 | 山田四郎右衛門 (編)
三壺聞書
写
13冊 23cm 和
第2, 第8冊を欠く | 23.2—9 | |
| 50 | 信州上田合戦記 附 隨筆諸談, おあん
物語
写
30丁 23cm 和 | 23.2—10 | |
| 51 | 富田平七 (雨邨)
俗説雜記
自筆
4冊 24cm 和
卷4を欠く
嘉永1 (1848) —明治8 (1875) 間
の藩内外の風説などの覚書 | 23.2—11 | |
| 52 | 富田平七 (雨邨)
聖上北陸御巡行ニ付下夕宿被仰付候始
終一件
自筆 明治11 (1878)
6丁 13.5×16.5cm 和
富田家には式部局掌典橋本実梁, 岩
倉具綱他6名が宿泊した | 23.2—12 | |
| 53 | 御巡行御行列并御供官員略表・御通筋拝
見人心得
金沢 横枕清七 明治11 (1878)
4丁 12×33cm 和 | 23.2—13 | |

- 54 [中国歴史年表] 23.2-14
写
15丁 25.5cm 和
蜀の延熙16 (253) より東晋の隆安
2 (399) まで、および周代年表
- 伝 記
- 55 [富田松栄] (編) 23.2-15
[郷土文人抄録]
自筆 明治年間
103P 23cm
諸書から郷土文人64名を抄録
- 56 和田文次郎 (編) 23.2-16
金 沢 墓 誌
金沢 加越能史談会 大正8 (1919)
100P 図 19cm
- 57 漢土名家一覧 23.2-17
写
85丁 8×17.5cm
- 58 国 譜 捷 選 23.2-18
写
18丁 23.5cm 和
前田利春から慶寧までの系譜
- 59 山崎籙侃 23.2-19
菅 家 累 譜
写 嘉永5 (1852)
3冊 23.5cm
- 60 御 年 譜 23.2-20
写
4冊 28cm 和
前田利家から綱紀まで
- 61 湯浅祇庸 (編) 23.2-21
公 譜 要 略
写
- 45丁 23.5cm 和
- 62 千石以上御家敷様御鎗印并御紋御寺之覚 23.2-22
富田平七 (雨邨) 写
14丁 17.5cm 和
加賀藩臣 71名
- 63 加越能三州后妃皇子等御陵書上 23.2-23
写
33丁 23cm 和
明治4年 (1871) 調査。附、明治30
年2月7日の北国新聞附録2枚
- 64 土橋定代 (編) 23.2-24
諸家知譜拙記
京都 竹原好兵衛 天保10 (1839)
改正板
3冊 27cm 和
第2・3・5巻 (端本) 文久3年の朱
入がある
- 65 [工芸家系図] 23.2-25
写
19丁 24cm 和
刀工、鑲工、鑄工、樂焼、蒔絵など
- 66 [能楽家系図] 23.2-26
松栄写
7丁 24.5cm 和
観世、今春、宝生、金剛など
- 67 [水付困窮の者へ鳥目施奇特の事] 申渡 23.2-27
写
1通 16cm
「木町壱丁目館屋権兵衛」宛
- 68 金百疋御目録 (写) 23.2-28
写

- 1通 24cm
天明元年(1781), 土方勘左衛門ら
より館屋権兵衛宛感状の写
- 69 [宇牧宛書簡] 23.2—29
自筆
4通 16.5cm
- 70 超願寺 23.2—30
[超願寺書簡]
自筆
2通 15.5cm
- 71 [雨邨宛書簡] 23.2—31
自筆
3通 17cm
- 72 島野一松 23.2—32
[日露海戦三笠通信]
自筆 明治37, 38 (1904.05)
2綴 函 19—26cm
旗艦三笠からの書簡集。富田長右衛
門宛。①は7通, ②は38通, 写も2
3通あり。島野一松は長右衛門の養
子であつたが, 離籍後も父親として
書状を出している
- 73 [松栄宛書簡] 23.2—33
自筆
3通 14.5—21cm
- 74 [書簡] 23.2—34
自筆
4通 18cm
宛名不詳
- 75 [書簡] 23.2—35
自筆
7通 16.5—26cm
- 76 [逸東宛書簡] 23.2—36
- 自筆
1通 17.5cm
- 77 館屋宇牧 23.2—37
旅日記
自筆 文政10 (1827)
38丁 12×18cm 和
文政10年5, 6月に山城・大和巡り
をした時の日記
- 78 富田雨邨 23.2—38
[旅日記]
自筆 元治1 (1864)
36丁 絵 11.5×17.5cm 和
元治元年春, 京都大阪方面
- 79 富田松栄 23.2—39
旅行日記
自筆 明治年間
65丁 函 18cm 和
旅日記をあとで編集したもの。
内容: 慶応2京坂等, 明治2東京,
同3大坂, 同4大坂, 同6白山, 同
8東京
- 80 富田雨邨 23.2—40
夢の戯言
自筆 明治12 (1879)
29丁 絵入 14×20cm 和
雨邨が妻女同伴京都見物の日記
- 81 富田松窓(松栄) 23.2—41
旅行日記
自筆 明治14 (1881)
17丁 12×18cm 和
四月, 京都旅行。金銭出納も詳細
- 82 富田松栄 23.2—42
旅行日記
自筆 明治30 (1897)

- | | | | | |
|----|--|---------|------------|--|
| | 12丁 12×17.5cm 和
京都往復旅行覚書 | | | |
| 83 | 元 成 (日政)
扶桑隠逸伝
京都 村上氏 寛文4 (1664)
3冊 27cm 和 | 23.2-43 | | |
| 84 | 菊池 純 (三溪)
本朝虞初新誌抜粋
富田松栄写 明治中期
30丁 23.5cm 和 | 23.2-44 | | |
| 85 | 青 波 (編)
対塔庵蒼虬翁伝
写 [明治年間]
1枚 22×31.5cm | 23.2-45 | | |
| 86 | 鶴見吐香
蜀山人抜粋
富田松栄写 明治末期
47丁 23cm 和
明治31 (1898) 版からの抜粋 | 23.2-46 | | |
| 87 | [三州高僧, 守領等略記]
写
29丁 23cm 和 | 23.2-47 | | |
| 88 | 信 濃 宮 伝
写
11丁 23cm 和 | 23.2-48 | | |
| 89 | 小沢松女のみさを
写
6丁 23.5cm | 23.2-49 | | |
| 90 | 村上素道
永平寺 二祖 孤雲懷弁禅師
京都 参禅会本部 昭和2 (1927)
22P 19cm | 23.2-50 | | |
| | | | 地 誌 | |
| 91 | 富田雨邨
白山禅定之日記
自筆 嘉永3 (1850)
22丁 15.5cm 和
嘉永3年6月16日から4名で白山登山, 勝山廻りで帰宅までの覚書 | 23.2-51 | | |
| 92 | 富田平七 (雨邨)
善光寺詣記
自筆 明治21 (1888)
12丁 図 16cm 和
5月6日発, 同17日帰宅。一行5名 | 23.2-52 | | |
| 93 | [高野旅行記]
写 [明治末期]
13丁 24cm 和 | 23.2-53 | | |
| 94 | 金子有斐
白山史
写
27丁 彩色図14 27cm 和
第1冊尾添谷登り口所々図のみの端本, 筆者不詳, 原著は8冊 | 23.2-54 | | |
| 95 | 吉野名所記
富田平七 (雨邨) の妻画 弘化3 (1846)
22丁 彩色 20.5cm 和
巻首に安永7年の吉野村領十景などを記し, 次に金沢から吉谷迄の絵図19種。巻末に雨邨とその息子の跋文がある。 | 23.2-55 | | |
| 96 | 富田景周
金城三河考
写
22丁 27cm 和 | 23.2-56 | | |

- 97 大沢君山 (増補) 23.2-57
 重修加越能大路水経
 土屋義休 原著
 写
 38丁 24cm 和
- 98 宝永記 卷1, 4 23.2-58
 富田雨邨写
 2冊 23.5cm 和
 2, 3巻を欠く。加賀, 能登および
 越中新川郡。「宝永誌」の別名か
- 99 加越能三ヶ国村々名所附 23.2-59
 富田雨邨写
 33丁 23.5cm 和
 元禄14 (1701), 宝永1 (1704) な
 どに採集したものの写
- 100 諸郡組々村名仮名附帳 23.2-60
 写
 64丁 24.5cm 和
 加越能三ヶ国の村名帳, 安政2年 (1855) のものに明治4年 (1871) 校
 合したもの
- 101 文豊斎 23.2-61
 能州記
 富田雨邨写
 48丁 25cm 和
 原著は安永6 (1777) 成立, 能登の
 主な宿村について記す
- 102 堀井長左衛門 (編) 23.2-62
 能登地名唱号考
 写
 16丁 23cm
 能登の郷村神号などの考証
- 103 綿屋北葦 23.2-63
 北国奇談巡杖記
 富田雨邨写
- 50丁 23.5cm 和
 文化4 (1807) 版の写本であるが,
 一部省略されている。
- 104 赤石吉五郎 23.2-64
 白山・立山
 写
 8丁 24cm
 明治35および40刊の写
- 105 津田鳳卿 23.2-65
 金城靈沢碑銘并叙
 写
 2丁 23.5cm 和
- 106 高泉 (曇華道人) 23.2-66
 自生山那谷寺記
 富田松栄写 明治年間
 13丁 23.5cm 和
 別名「高泉那谷寺記」。元禄2 (16
 89) 山代温泉での作
- 107 自生山那谷寺之景 23.2-67
 1枚 (銅版) 27×39cm
 明治31 (1898) 刊日本名蹟図誌, 加
 能宝鑑中のものと同版。
- 108 加賀国山代温泉所全図 23.2-68
 金沢 山下本舖 明治34 (1901)
 1枚 (銅版) 27×38.5cm (みゆのし
 るべ4号)
 裏面は温泉の概略記, 汽車時刻表な
 ど
- 109 [自金沢 下街道々中案内] 23.2-69
 至江戸
 富田松栄写 明治年間
 64丁 15cm 和
- 110 天正十一年前田氏領地図 23.2-70
 写
 1枚 彩色 27×37cm

- | | |
|--|--|
| <p>111 [加賀三湖風景図] 断片 23.2-71
写
4枚 彩色 13×36cm—68×32cm</p> <p>112 吉原細見 23.2-72
江戸 小泉 文政1 (1818)
35丁 17.5cm 和</p> <p>113 秋里籬島 23.2-73
都名所図会
京都 吉野屋為八 安永9 (1780)
6冊 26cm 和</p> <p>114 京名所道の枝折 23.2-74
京都 小川多左衛門 文化7 (1810)
絵図1枚 彩色 31×42cm
四条通以南のみ</p> <p>115 木村明啓・川喜多真彦 23.2-75
花洛名勝図会 1,8巻
京都 出雲寺文次郎 元治元(1864)
2冊 26.5cm 和</p> <p>116 秋里籬島 23.2-76
都林泉名勝図会抜粋
富田松栄写
59丁 20.5cm 和</p> <p>117 秋里籬島 23.2-77
都名所図会抜粋
富田松栄写
64丁 20.5cm 和
表題「都名跡」で下巻のみ</p> <p>118 秋里籬島 23.2-78
摂津名所図会・和泉名所図会抜粋
富田松栄写
54丁 20cm 和
表題「摂津名跡・和泉名跡」</p> <p>119 秋里籬島 23.2-79
河内名所図会抜粋</p> | <p>富田松栄写
51丁 20.5cm 和
表題「河内名跡」で下巻のみ</p> <p>120 河内名所図絵抜粋 23.2-80
富田松栄写
13丁 23.5cm 和</p> |
|--|--|

3. 社会科学

政治・経済

- | | | | |
|-----|---|--------|--|
| 121 | [町方諸請届状案文]
写
17丁 12×18cm 和
宛先は町奉行, 町会所, 組合頭など | 23.3-1 | 写 明治5 (1872)
1通 24cm
能登屋半三郎宛, 額面3597貫文 |
| 122 | 小幡和平 (編)
洋貨図録初輯
金沢 編者 明治4 (1871)
31丁 25.5cm 和 | 23.3-2 | 129 金沢為替会社 23.3-9
[役職任命通知]
写 明治11 (1878)
2通 16cm
1通は富田平七あて |
| 123 | 銀鈔始終記
富田平七 (雨邨) 写
32丁 26cm 和
宝暦銀札の始末記 | 23.3-3 | 130 金沢為替会社 23.3-10
[賞与辞令]
写 明治14 (1881)
1通 18cm
富田平七あて |
| 124 | 富田松栄 (長右衛門) (編)
諸事控
自筆 明治末期
19丁 6.5×13.5cm 和
諸物価, 運賃などの覚書 | 23.3-4 | 131 金沢為替会社 23.3-11
[多年在職慰労金交付状]
写 明治15 (1882)
1通 16.5cm
富田平七宛, 反物料金十円交付 |
| 125 | 富田長右衛門 (松栄)
[秩禄公債証書毀損につき取扱伺書]
自筆 明治10 (1877)
1通 24cm | 23.3-5 | 132 市村貞吉 23.3-12
[保証責任解除] 証明書
写 明治24 (1891)
1通 24cm
富田長右衛門宛 |
| 126 | 金沢為替両会社交名録
写 [明治3 (1870)]
16丁 12×18cm 和 | 23.3-6 | 133 富田松栄 23.3-13
銀行簿記雑稿
自筆 明治12 (1879)
125丁 24.5cm 和
明治12年長右衛門は国立第十二銀行
計算掛をしていた |
| 127 | 為替会社規則
写
6丁 24cm 和
附「為替会社, 商法会社所務大意」 | 23.3-7 | 134 真成社 23.3-14
[預り金] 証
写 明治15 (1882)
1通 27.5×13.5cm |
| 128 | 金沢為替会社
[貸付金中勘受取] 覚 | 23.3-8 | |

- 裏面に「預り金約則」あり
- 2通 24cm
- 135 平野銀行 23.3—15
〔入金通知書〕
写 明治25, 26 (1892, 93)
2通 24cm
- 136 除銀仕法通 23.3—16
写 天保14 (1843)
3丁 16×43cm 和
館屋平七(雨邨)の無尽講の預金通帳。富田屋長兵衛(棹江)発行
- 137 館屋平七(雨邨)(編) 23.3—17
印鑑簿
写 安政3—慶応4 (1856—68)
4丁 14×21.5cm 和
- 138 田辺仙三郎 23.3—18
〔扶持米売渡〕覚
自筆 慶応4 (1868)
1通 24cm
- 139 多賀数馬 23.3—19
〔借銀〕覚
自筆 安政4 (1857)
1通 25cm 包紙入
- 140 田辺仙三郎等 23.3—20
〔借銀〕覚
自筆 万延1—明治2 (1860—69)
6通 25.5cm
- 141 善導寺 23.3—21
〔借銀〕覚
自筆 明治4 (1871)
1通 24cm
- 142 嶋谷太四郎・金田長栄 23.3—22
〔借金〕証
自筆 明治6, 16 (1873, 83)
- 143 河村未太郎等 23.3—23
〔借金〕証
自筆 明治19—27 (1886—94)
4通 24cm
- 144 三木 栄 23.3—24
日暹两国通好史実摘要
在暹羅 日本公使館 昭和9 (1934)
10P 26cm
- 教育・風俗
- 145 庭訓往来 23.3—25
富田雨邨写
28丁 24cm 和
- 146 女用千尋浜 23.3—26
浅田恒隆筆 下河辺拾水画
京都 菊屋七郎兵衛 安永9 (1780)
74丁 26cm 和
- 147 〔女人ちえぶくろ〕 23.3—27
刊年不明
163丁 25.5cm 和
- 148 四条家昏礼床荘饗膳并七五三式三献之記 23.3—28
富田松栄写
33丁 23cm 和

4. 自然科学

理 学

- 149 富田松栄(編) 23.4—1
算術習受雜記
自筆 明治22(1889)
135丁 12×17cm 和
- 150 算新小集 23.4—2
富田松栄写
66丁 12×17cm 和
千葉胤秀の「算法新書」の抜粹
- 151 [運氣之説] 23.4—3
写
34丁 24.5cm 和
- 152 倉谷哲僧 23.4—4
天文講談聞書 附天保十四曆
写
44, 15丁 24cm 和
- 153 [曆つなぎ] 23.4—5
伊勢山田 文化8—明治5(1811—72)
59丁 22cm 和
内容: 文化9, 10, 天保7, 慶応3, 4, 明治2, 3, 6年
- 154 [曆] 23.4—6
伊勢山田 富田大弐 天保5—元治1(1834—64)
5冊 27×9cm 和
内容: 天保6, 安政2, 文久3, 4, 元治2
- 155 天保壬寅元曆 23.4—7
京都 大経師隆屋内匠 天保15—明治6(1844—73)
12冊合綴 16cm 和

内容: 天保15, 16, 弘化3, 4, 嘉永5, 安政7, 文久2, 3, 4, 元治2 明治4, 5

- 156 明治略本曆 23.4—8
神宮司庁神部署刊 明治21—40(1888—1907)
20冊 26cm 和
内容: 明治21—40, 但し、明治39年10—12月欠
- 157 略本曆 23.4—9
金沢 神宮奉斎会金沢本部 明治27—38(1894—1905)
5枚 33×12cm
内容: 明治28, 30, 36, 38, 39年の略曆
- 158 地震記 23.4—10
富田松栄写 明治年間
53丁 24cm 和
「金沢=於ケル古来ノ地震」「日本=於ケル古来ヨリノ地震」で、何れも明治24年(1891)まで

漢法医学

- 159 聶尙恒 23.4—11
痘疹活幼心法
[京都 中川茂兵衛 明和1(1764)]
114丁 18cm 和
- 160 稻葉克(文礼) 23.4—12
腹証奇覽
大坂 塩屋平助 享和1(1801)
40丁 22.5cm 和
正篇坤のみの端本

- 161 素問集註 9卷 23.4—13
張志聰集註
中国 浙江醫局 光緒16 (1890)
6冊 24cm 和
- 162 松井輝星 23.4—14
存々成務 卷1
大阪 文榮堂 明治28 (1895) 序
26丁 22cm 和
- 163 田居仁由義 23.4—15
切脈小言
写
10丁 24cm 和
- 164 原南陽(昌克) 23.4—16
寄奇方記
手写
105丁 13.5×19cm 和

工 業

5. 工 業

- 165 富沢 等 (大雅) 23.5—1
酒 制 大 乘
富沢幸雅写 文化9 (1812)
18丁 23.5cm 和
酒造法。原著は安永2 (1773) 成立
- 166 横山鉦業部定款及諸規則 23.5—2
明治37 (1904) 刊
29P 19cm

6. 産 業

農 政

- 167 石黒信由(藤右衛門) 23.6-1
 検地方一卷
 写 天保2(1831)
 32丁 24cm 和
- 168 三州租税一覧 23.6-2
 写 天保3(1832)
 10丁 12×17.5cm 和
- 169 作徳平均之法并子作々徳打込平均之法 23.6-3
 写 安政2(1855)
 10丁 12×17.5cm 和
- 170 古量図説 23.6-4
 写
 16丁 24cm 和
- 171 五十嵐篤好(小豊次) 23.6-5
 口米考
 写
 34丁 27cm 和
- 172 五十嵐篤好(小豊次) 23.6-6
 苗代名義考
 写
 13丁 24cm 和
- 173 五十嵐篤好(孫作・小豊次) 23.6-7
 課役考
 写
 37丁 28cm 和
- 174 諸家様御廻米蔵々内実附 23.6-8
 大坂 文政12(1829)版
 1枚 33×47.5cm
 大坂の米蔵に各藩からの米の入荷時

と出荷時の容量を表記したもの

- 175 富田長右衛門(編) 23.6-9
 茶雑記
 自筆 明治13-15(1880-82)
 44丁 23cm
- 176 西山芳花園 23.6-10
 朝顔培養法
 写
 4丁 23.5cm 和
- 商業・交通
- 177 [諸事覚] 23.6-11
 写
 27丁 19.5cm 和
 明治2-5(1869-72)間の覚書。
 木屋等五郎の人別送り状、大坂市中
 制法など、商用関係が多い
- 178 富田長右衛門(松栄) 23.6-12
 諸事録
 自筆 明治12, 13(1879-80)
 38丁 16cm 和
- 179 富田長右衛門 23.6-13
 茶商記事
 自筆 明治11-14(1878-81)
 17丁 18.5cm 和
 明治11(1878)から同14年までの業
 績
- 180 [開店ちらし] 23.6-14
 [明治中期]
 3枚 24×19.5cm
 南町理髮稲田藤次郎、横安江町坂本
 刃物店、殿町呉服商由雄支店の開店

案内

- 181 米里喜平(編) 23.6—15
株式会社金沢米穀取引所沿革
金沢 編者 明治45(1912)
56P 図 19cm
- 182 御半納相場心得之事 23.6—16
写
1枚 16×28.5cm
包紙上書は「故実書」
- 183 東海北陸山陽線主要駅間賃金表 23.6—17
明治年間
1枚 26.5×39cm

7. 芸 術

美 術

- 184 芥舟学画編入名録・山中人饒舌人名録
23.7—1
富田松栄写
6丁 23.5cm
沈宗騫「学画編」と田能村竹田の
「山中人饒舌」の人名索引
- 185 水原模屋（編） 23.7—2
明治
名家 仿古画譜
大坂 前川善兵衛 明治13（1880）
4冊 19cm （第1集四君子之部）
帙入
- 186 尊円親王 23.7—3
臨 池 抄
富田松栄写 [明治年間]
13丁 24cm 和
- 187 文 徵 明 23.7—4
前赤壁賦法帖謄本
写
1帖 27.5cm 和
- 188 文 徵 明 23.7—5
馬 賦
刊年不詳
1帖 28.5cm 和
- 189 文 徵 明 23.7—6
[文 徵 明 書]
刊年不詳
1帖 34.5cm 和
- 190 趙 子 昂 23.7—7
趙 子 昂 書
刊年不詳
1帖 28cm 和

- 191 董 其 昌 23.7—8
白 羽 扇 賦
刊年不詳
1帖 29.5cm 和
- 192 董 其 昌 23.7—9
百 家 姓
京都 谷岡七左衛門 寛文2（1662）
1帖 26cm 和
- 193 鱗 鳳 龜 龍 23.7—10
写
7丁 23cm 和
董其昌の書の模写
- 194 高 泉 23.7—11
自生山那谷寺記
影写
23丁 27cm 和
- 195 草 字 彙 技 粹 23.7—12
[富田松栄写 明治年間]
5冊 24.5cm 和
第1, 2, 4, 5, 6冊
- 196 諸家手跡マクリ等 23.7—13
[富田松栄写 明治年間]
37丁 24.5cm 和
郷土関係人の筆蹟・書状などの写
- 197 富田松栄（編） 23.7—14
ふきよせまかい
自筆
20丁 24cm 和
当地諸家の蔵する筆蹟の字句を写し
たもの

芸 能

芸 術

- 198 小 語 概 撰 23.7—15
写
13丁 24cm 和
- 199 免 舞 伝 授 録 23.7—16
富田松栄写
18丁 24cm 和
宝生流習事之順ほか
- 200 天正文禄慶長年間上様御能番組 附 文
禄2年御能番組 23.7—17
富田松栄写
24丁 28cm 和
表題「古代能番組」。上様は秀吉
- 201 楽 曲 抜 萃 23.7—18
写
92丁 9.5×19.5cm
- 202 能 楽 抜 粹 23.7—19
写 明治末期
44丁 24cm 和
猿楽系譜，能楽諸流系譜など，雑誌
能楽の抜粹
- 203 宝生太夫（編） 23.7—20
〔能 稽 古 表〕
写 明治25（1892）
1枚 34×30cm
入門者の稽古の順序を定めたもの，
文化2（1805）改め
- 204 角 力 番 附 写 23.7—21
写
11枚綴 32×23cm
安永4（1775）から文政2（1819）
まで
- 205 将 基 雑 録 23.7—22
〔富田松栄〕写
50丁 17.5cm 和

諸将棋書よりの抜萃

- 206 美 知 23.7—23
〔短 冊〕朴而健
自筆 昭和12（1937）
1枚 36.5cm
筆者については不明

23-9-4
の平紙 (R)

茶 道

- 207 藪内紹智 23.7—24
〔茶 道〕誓約証書
自筆 明治26（1893）
1通 18cm 包紙入
- 208 富田長右衛門（松栄） 23.7—25
誓 約 神 文〔控〕
自筆 明治26（1893）
1通 23cm
- 209 藪内紹智 23.7—26
〔茶 道〕上段証書
自筆 明治26（1893）
1通 18.5cm 包紙入
- 210 富田長右衛門（松栄） 23.7—27
目 録 神 文〔控〕
自筆 明治26（1893）
1通 23cm
- 211 藪内紹智 23.7—28
〔藪内紹智書状〕
自筆 明治26—31（1893—98）
6通綴 大24cm
附，富田長右衛門質問状
宛名は長右衛門
- 212 南京染付等香合位附 23.7—29
写
6丁 24.5cm 和

芸 術

213 石黒忠應(況斎)(編) 23.7—30
好 求 録
写
25丁 24cm 和
茶器(陶器)鑑定法。成立明治16(1883)

214 固 来(放下庵) 23.7—31
数 奇 屋 之 図
写
16丁 24cm 和
原本成立 文政12(1829)

215 小枝略翁(編) 23.7—32
茶 事 集 覧
富田松栄写
2冊 23.5cm 和
嘉永5(1852)版の写

216 不 審 庵 茶 事 23.7—33
写 慶応1(1865)
4丁 24cm 和
端本

217 竹 根 談 23.7—34
富田松栄写 明治年間
7冊 24cm
全15巻中, 巻首・1・2・3・5・
6上・6下。藪内流茶道書

218 古今茶人系譜小伝附録 23.7—35
富田松栄写 明治年間
8丁 24.5cm 和

219 翠香女史 23.7—36
茶 道 ノ 話
写 明治年間
8丁 23cm 和
(端本)

220 能久平古稀祝意茶事記 23.7—37

写 明治39(1906)
3丁 14×23.5cm 和

221 茶湯客心得 23.7—38
写
6丁 24cm 和

8. 語 学

- 222 顔懋功(編) 23.8-1
 韻府一隅 仄韻部
 江戸 前川六左衛門 文政5(1822)
 234丁 18.5cm 和
- 223 青木鷺水(白梅園) 23.8-2
 万葉仮名遣
 刊年不明
 167丁 16cm 和
- 224 言 靈 23.8-3
 写
 5冊 18.5-24.5cm 包紙入
 50音の発音とその意義。
 大略同文のもの5冊
- 225 貝原好古(編) 23.8-4
 和爾雅拔萃
 写
 11丁 23.5cm 和
 親戚門の部など
- 226 〔枕 詞〕 23.8-5
 写
 9丁 13.5×18cm 和

9. 文 学

綴 記

- 227 〔日本名家一覽〕 23.9—1
写
19丁 7.5×17.5cm 和
- 228 狂歌四季之詠秀逸競 23.9—2
俳諧
刊年不明
1枚 彩色 51.5×67.5cm
江戸中期の地方作家の目録
- 229 燕台風雅人名録 23.9—3
富田松栄写
15丁 23cm 和
- 230 富田雨邨 23.9—4
摺 摺
自筆 慶応2—明治5 (1866—72)
2冊 18cm 和
漢詩, 和歌, 字解, その他覚書
- 231 富田松栄 (編) 23.9—5
摺 摺 雑 誌
写 明治初・中期
5冊 24cm 和
諸書からの抜粋その他文芸雑録
- 232 富田雨邨 23.9—6
雨 邨 草 稿 [雑録]
自筆 明治16—28 (1883—95)
110丁 18cm 和
- 233 摘 藻 23.9—7
写 明治27, 28 (1894, 95)
16丁 21cm 和
富田雨邨晩年のものか。
- 234 富田松栄 23.9—8
雑 藁

自筆 明治38—40 (1905—07)
32丁 25cm 和

- 235 富田松栄 23.9—9
手 帖
自筆 明治37—39 (1904—06)
124P 13cm
- 236 奥州多賀古城坪碑図 [等] 23.9—10
富田雨邨写
14丁 24cm
- 237 傍 琴 日 記 23.9—11
写
7丁 18cm 和
万葉の字句その他の覚書
- 238 雑 記 23.9—12
富田松栄写
41丁 17cm 和
「大坂繁昌詩」「東海道名所図会」
などからの抜書

和 歌

- 239 日 本 魂 23.9—13
写
21丁 17.5cm 和
維新愛国者の和歌集
- 240 徳田寛所 23.9—14
〔徳田寛所和歌短冊〕
自筆
1枚 36.5cm
- 241 〔諸家和歌短冊〕 23.9—15
自筆
3枚 36.5cm
葆光, 元規, 蕉雨

文 学

- 242 〔和歌歳旦ほか〕 23.9—16
写
6通 17.5cm
- 243 緑亭川柳 23.9—17
畸人百人一首
葛飾為斎画
山口屋藤兵衛 嘉永5 (1852)
60丁 18cm 和
- 244 百人一首人略伝 23.9—18
富田松栄写 明治後期
24丁 20.5cm 和
- 245 名所小鏡 23.9—19
京都 永田長兵衛 貞享2 (1685)
165丁 15cm 和
附、国別名所索引(手写)
- 246 大田南畝(蜀山人) 23.9—20
蜀山人百首狂歌
富田松栄写
8丁 23cm 和
春・夏・秋・冬・恋・雑各10~20首
- 俳 諧
- 247 竹内玄々一 23.9—21
俳家奇人談号名録抜萃
蓬盧青々編
写
70丁 23.5cm 和
- 248 加能俳人誌 23.9—22
金沢 加越能教育社 大正2 (1913)
56P 22.5cm (加越能第9年4・5
月合併号)
- 249 高田室左琴 23.9—23
〔芭蕉像を車大に譲る辞〕
写
1枚 29.5×45cm
- 250 暮柳舎〔車大〕 23.9—24
像前月次句
写
4丁 22.5cm 和
- 251 〔車大〕 23.9—25
像 前
写 享和2—文化12 (1802—15)
10丁 16cm 和
毎月12日に芭蕉像前に供えた句を集
めたもの
- 252 暮柳舎車大 23.9—26
遺 書
自筆 文化14 (1817)
4丁 25cm 和
- 253 〔像前句控〕 23.9—27
字牧写 文化14 (1817)
1枚 11.5×36cm
- 254 暮柳舎 23.9—28
七々会〔俳諧連歌〕
写〔天保7 (1836)〕
63丁 26.5cm 和
毎月7の日興行の暮柳舎連歌記録
- 255 御俳諧之連歌 23.9—29
〔文政10 (1827) 刊〕
1枚 折18×48cm
〔文政十亥年六月十日於二条殿御興
行〕の副書あり
- 256 〔二条東巖〕 23.9—30
〔賞 詞〕
写 文政10 (1827)
1通 18.5cm
字牧宛。「東巖」印あり
- 257 喜頭左兵衛尉 23.9—31
副 書

- 自筆 [文政10 (1827)]
1通 17.5cm
宇牧二条殿連歌に出席の際のもの
- 258 轍士(編) 23.9—32
俳諧糸屑上
刊 元禄6 (1693) 序
5, 52丁 16.5cm 和
- 259 連歌至要抄 23.9—33
金屋平兵衛 元禄12 (1699)
9, 124丁 16cm 和
別名「連歌うすもみち」
- 260 北枝 23.9—34
山中問答
写
10丁 23.5cm 和
- 261 小寺後川 23.9—35
[はいかいの大事]
自筆 寛政8 (1796)
27丁 19cm 和
俳諧の座法, 用語の意義等を集録
- 262 俳諧二十五箇条講義 23.9—36
雫庵車大写
19丁 16cm 和
別名「俳諧二十五箇条註解」か
- 263 西田宇鹿(編) 23.9—37
はせを翁発句十六篇
写
23丁 22cm 和
「暮柳舎」の朱印あり
- 264 五老井許六 23.9—38
歴代滑稽伝
京都 野田弥兵衛 正徳5 (1715) 跋
37丁 22.5cm 和
- 265 去来 23.9—39
去来抄
京都 井筒屋庄兵衛 安永4 (1775)
53丁 22.5cm 和
「暮柳舎」と「車大之印」の印あり
- 266 小寺後川(綿屋後川) 23.9—40
七部集講義
自筆
180丁 19.5cm 和
- 267 暮柳舎車大(編) 23.9—41
俳諧すくろ
自筆
36丁 16.5cm 和
俳諧先人の説を抄録した入門書
- 268 正式伝 23.9—42
黄山舎車大写 寛政7 (1795)
11丁 23cm 和
連歌の式法を覚書したもの
- 269 蓑笠庵主人 23.9—43
芭蕉翁発句解補
写 寛政11 (1799)
43丁 24cm 和
浪化の「芭蕉翁発句解」を補したもの
- 270 溝口竹亭 23.9—44
新版₄をだまき大成上
改正
[京都 田中庄兵衛 宝暦11(1761)]
92丁 15.5cm 和
別名「俳諧をだまき綱目大成」
- 271 谷川護物(編) 23.9—45
俳諧定坐変体之図
江戸 英平吉版
1枚 38×51cm
裏面「元禄年間俳諧年暦略記」

- 272 中堀僖庵 23.9—46
 萩の志おり
 大阪 鴈金屋 元禄5 (1692)
 2冊 16cm 和
 別名「志をり萩」「詞林綱目」「詞林万葉良材」
- 273 混空(編) 23.9—47
 産衣
 大坂 鳥飼市兵衛 元禄11 (1698)
 3冊 10.5×16cm 和
- 274 華実年浪草目録・箋纏輪抜粹 23.9—48
 写
 41丁 24cm 和
- 275 各務支考 23.9—49
 笈日記中, 下巻
 刊 元禄8 (1695) 跋
 2冊 22.5cm 和
 中巻の一部及び下巻は写本
- 276 芭蕉(著) 虬戸庵素綾(編) 23.9—50
 風羅袖日記上
 刊年不明
 28丁 15.5cm 和
 別名「芭蕉袖日記」表題は「芭蕉翁発句集」
- 277 凉菟(編) 23.9—51
 皮籠摺下
 京都 西村市郎右衛門 元禄12 (1699)
 36丁 22.5cm 和
- 278 盧元坊(里紅)(編) 23.9—52
 文星観上
 刊 [享保17 (1732)]
 35丁 22.5cm 和
- 279 暮柳舎希因 23.9—53
- 暮柳発句集下
 京都 橘屋治兵衛 [明和3 (1766) 序]
 36丁 23cm 和
 編者は小寺後川
- 280 風逸(編) 23.9—54
 白達摩
 京都 菊舎太兵衛 天明3 (1783)
 33丁 22cm 和
 別名「白達摩見風追善集」
- 281 小寺後川(編) 23.9—55
 こと葉の露
 金沢 平蔵・市郎右衛門 天明6 (1786)
 39丁 23.5cm 和
- 282 五升庵蝶夢(編) 23.9—56
 芭蕉翁発句集下
 京都 筒井庄兵衛 寛政1 (1789)
 39丁 15cm 和
- 283 暮柳舎車大(編) 23.9—57
 まちりさき
 京都 勝田善助 文化2 (1805) 序
 4,44丁 19cm 和
 角書「四季類題」
- 284 車大(編) 23.9—58
 道のともし
 京都 勝田善助 文化12 (1815) 序
 49丁 22.5cm 和
- 285 梅室 23.9—59
 梅室附合集
 菊所編
 江戸 須原屋佐助 文政11 (1828)
 序跋
 2冊 19cm 和
 別名「梅室大人附句拔萃」

- 286 蒼 虬 23.9—60
 对塔蒼蒼虬句集 乾
 [天保10 (1839) 板]
 36丁 22.5cm 和
- 287 横山隆平 (受来) (編) 23.9—61
 清 流 集
 金沢 有文堂 明治26 (1893)
 35丁 23.5cm 和
- 288 芭 蕉 23.9—62
 芭蕉翁俳諧
 写
 2冊 13×19.5cm 和
 加賀の島野一翁が採集した芭蕉の連句などを、大体年代別に編集したものの。編者不詳。刊本「芭蕉翁俳諧集」より内容多く蝶夢の集めたものとの差異は不明
- 289 蝶 夢 (編) 23.9—63
 類 題 発 句 集 春夏冬雑
 写
 2冊 17×23cm 和
 安永3年 (1774) 版の写
- 290 柳陰庵句空 (編) 23.9—64
 ほ し あ み
 写
 46丁 22cm 和
 別名「干綱集」, 宝永版の写
- 291 坂尻屋珈涼 23.9—65
 渡 り 鳥
 写
 卷子1 画入 20cm
 原本成立は寛政3年 (1750) か
- 292 八椿舎康工 (編) 23.9—66
 俳 諧 百 一 集
 写
- 293 康 工 (編) 23.9—67
 俳 諧 百 一 集 序
 写
 27丁 11.5×17cm 和
 「俳諧百一集」の句のみを写したものの
- 294 蕉 村 (編) 23.9—68
 こ の ほ と り
 写
 12丁 23cm 和
 別名「一夜四歌仙」, 安永2 (1773) 版の写
- 295 館屋世涼 23.9—69
 発 句
 自筆 天明2 (1782)
 6丁 20.5cm 和
 署名「北庵」。自作92句
- 296 館 雨邨 (編) 23.9—70
 世 涼 句 集
 自筆 嘉永6 (1853)
 16丁 23.5cm 和
- 297 館 雨邨 (編) 23.9—71
 暮柳舎宇牧発句集
 自筆 嘉永6 (1853)
 2冊 23.5cm 和
 前・後編
 明治16年の補足あり
- 298 一 順・可 仙 23.9—72
 写
 5丁 24.5cm 和
 世涼が名古屋方面に旅した時のもの
- 299 車大 等 23.9—73

- 俳諧〔夏の月〕
写
3丁 30cm
四十四1卷
- 300 白夜 等 23.9-74
俳諧〔文月の〕
写
8丁 18cm 和
白夜・甘谷・棹江・車大ら
- 301 宇牧・椿堂 23.9-75
〔宇牧・椿堂歌仙〕
宇牧筆
2丁 12×36cm 和
椿堂・宇牧の歌仙二卷
- 302 蒼虬・宇牧 23.9-76
〔歌仙ちるほどの〕
写
3丁 27cm 和
- 303 宇牧 等 23.9-77
〔連句鴛の背に〕
写
6丁 18cm 和
宇牧・護物・士朗・卓池・椿堂・蒼虬・十丈・椿雨らの連句
- 304 〔春日社天神講俳諧一巡〕 23.9-78
写
1枚 31.5×43.5cm
棹江・宇牧らの連句
- 305 一 巡 23.9-79
写
卷子1 35cm
蒼虬・年風・大常等の連句
- 306 余 興 行 23.9-80
写
- 307 蒼虬 等 23.9-81
〔連句一巡〕
刊年不明
1枚 18×48.5cm
宗匠夙也，名代蒼虬，執筆六英等による連句一巡
- 308 〔連句君が代に〕 23.9-82
写
1枚 16.5×93cm
- 309 宇 牧 23.9-83
〔句 帳〕
自筆
2冊 17.5cm 和
- 310 宇牧 等 23.9-84
〔俳 句〕
刊年不明
1枚 19×25.5cm
車大，壺仙，一湊，宇牧の句。浮石の絵を付す
- 311 公 氷（能登屋巴石） 23.9-85
拙 作
自筆 〔天保1（1830）〕
2通 16.5cm
- 312 浅野屋林坡 23.9-86
〔春 五 句〕
自筆
1枚 16×28cm
- 313 〔歳 旦 句〕 23.9-87
明治27，29（1894，96）
2枚 19×25cm，22×29cm
居中（横山隆興），受来（横山隆平）を中心に諸家の句をかゝげる

文 学

- 314 柏 葉 23.9—88
三 吟
柏原・曲川・蓬宇著
写 明治中期
8丁 22.5cm 和
- 315 林 曹竹 23.9—89
〔春 六 句〕
自筆
1枚 17×38cm
- 316 金言様入句 23.9—90
写
2丁 17.5cm 和
- 317 〔諸家俳句〕 23.9—91
写
10枚 15×31cm—18×58cm
- 318 かの 23.9—92
〔かの女俳句短冊〕
自筆
1枚 36cm
- 319 横山隆平(受来) 23.9—93
〔横山受来俳句短冊〕
自筆
7枚 37cm
- 320 横山隆興(居中) 23.9—94
〔横山居中俳句短冊〕
自筆
1枚 36.5cm
- 321 〔諸家俳句短冊〕 23.9—95
自筆
7枚 36.5cm
華水・霞亭・豊
- 322 立花北枝 23.9—96
〔如柳酒蔵上棟福神面〕 祝詞

- 自筆 宝永3(1706)
1軸 47cm
箱入。福神面付(箱入り)
- 323 車 大 23.9—97
〔五十の賀の句〕
自筆
1通 16.5cm
- 324 車 大 23.9—98
試筆〔花鳥の〕
自筆
1枚 26×35.5cm
- 325 富田屋棹江 23.9—99
賀 婚
自筆
1枚 31.5×34cm
- 326 他石 等 23.9—100
〔祝 の 句〕
自筆
4枚 20.5×30cm—33×43cm
他石・一斗・其雪・松雨ら
- 327 呉 山 23.9—101
ことほぎ
写
1枚 24.5×38.5cm
- 328 樽 良 23.9—102
吊野冬子魂
自筆
1通 20×33cm
孤芳宛。野冬は小松の人
- 329 鹿 古 23.9—103
〔車大追善の句〕
自筆
1枚 27×42.5cm

- 330 曾古亭東亀 23.9—104
 [暮柳舎のあるじを弔う句]
 自筆
 1通 17.5cm
- 331 二俣屋淇亭 23.9—105
 [宇牧を悼む辞]
 自筆 天保8 (1837)
 1枚 33.5×47.5cm
- 332 浅野屋林坡 23.9—106
 [手 向 の 句]
 自筆
 1枚 21.5×27cm
 宇牧忌明けの法会
- 333 林坡 等 23.9—107
 おのおの手向
 写 嘉永6 (1853)
 1枚 16.5cm 折
 宇牧17回忌手向の句
- 334 追善俳諧之連歌 23.9—108
 写 嘉永6 (1853)
 1枚 16.5cm 折
 宇牧の17回忌法蓮にて雨邨ら
- 335 羽田自明 23.9—109
 追 悼 [句]
 自筆
 1枚 16.5×23cm
- 336 杉野超翠 23.9—110
 [宇牧三十三回忌追悼句]
 自筆 [明治2 (1869)]
 1枚 24×41cm
- 337 館屋世凉 (編) 23.9—111
 笠のかほり
 手写
 29丁 21.5cm
- 338 館屋宇牧 23.9—112
 埃 袋
 自筆 天保5 (1834)
 14丁 17.5cm 和
 「天保五甲午晚春栗津温泉之記」とあり、3月19日から4月8日までの句日記。題字は長右衛門松栄
- 339 宇 牧 23.9—113
 雜 記
 自筆
 37丁 17cm 和
 俳諧に関する雑記
- 書 簡
- 340 成田蒼虬 23.9—114
 [蒼 虬 書 簡]
 自筆
 7通 17cm
 館屋宇牧宛
- 341 越前屋大常 23.9—115
 [大 常 書 簡]
 自筆
 1通 15cm
 宇牧宛
- 342 梅田年風 23.9—116
 [年 風 書 簡]
 自筆
 5通 17cm
 宇牧宛
- 343 富田屋棹江 23.9—117
 [棹 江 書 簡]
 自筆

- 3通 17.5cm
字牧宛
- 344 荒井貫名 23.9—118
〔荒井貫名書簡〕
自筆 天保7 (1836)
1通 17.5cm
字牧宛
- 345 能登屋巴石 (公水) 23.9—119
〔巴石書簡〕
自筆
1通 17cm
- 346 比良城林曹 23.9—120
〔林曹書簡〕
自筆 [天保7 (1836)]
1通 16.5cm
- 347 江間万里 23.9—121
〔江間万里書簡〕
自筆
5通 16—25cm
富田雨邨宛
- 348 広瀬旭窓 23.9—122
〔広瀬旭窓書簡〕
自筆
5通 17.5cm
雨邨あて
- 349 徳田寛所 23.9—123
〔徳田寛所書簡〕
自筆 明治10 (1877)
1通 28.5cm
雨邨宛
- 350 〔うねのや書簡〕 23.9—124
自筆
2通 17.5cm
1通は如柳子末裔宛, 1通は松裏庵

主人宛, 前者は不詳, 後者は長右衛門松窓か

- 351 賀茂季鷹 (編) 23.9—125
かりの行かひ
写
35丁 23.5cm
享和2板の写

その他の日本文学

- 352 渡辺敏夫 (編) 23.9—126
嘯 詠 集
渡辺敏夫・伊藤角一共編
東京 金雞学院 昭和5 (1930)
30P 22cm
冠称「新体名詩」
正篤・独歩・啄木・晚翠・藤村・有朋・白秋
- 353 北村季吟 23.9—127
湖 月 抄
江戸 村上勘左衛門等 延宝元年 (1748) 序
60冊 27.5cm
- 354 天草軍談・寛永南島変 23.9—128
富田雨邨等写
6冊 22cm
田丸具房著「天草軍談」と堀麦水著「寛永南島変」とを一しよにしたもの。後者は嘉永5 (1852) 雨邨写。天草軍談3冊1~8, 13~16巻寛永南島変3冊7, 8巻, 巻之下附録
- 355 松嶋復仇録・奥州二本松親子塚 23.9—129
富田雨邨写 明治初年
31丁 23cm 和
前者は金沢の講談師渡辺一徳斎の口

演を、後者は竹内与市の談話を雨邨
が筆記したもの

356 堀 麦水 23.9—130

昔 日 北 花 卷之五抜萃

写

5丁 24cm 和

卷の五の最終章

357 鴨 長明 23.9—131

方 文 記

手写

12丁 24cm

卷初のみの端本

漢 詩 文

358 鏡晃玄暉 (富田雨邨) 23.9—132

痴 童 詩 集

自筆 天保13 (1842) —

2冊 15, 23cm 和

359 富田雨邨 23.9—133

雨 邨 草 稿 [漢詩] 卷四

自筆

67丁 23.5cm 和

安政2年から明治12年 (1879) まで
の漢詩集。第四巻のみ

360 徳田寛所 23.9—134

[徳田寛所詩稿]

自筆 [明治初期]

2枚 15.5×42cm, 20.5×36cm

1首は明治13年 (1880) 作

361 徳田寛所 23.9—135

[徳田寛所漢詩短冊]

自筆

3枚 36.5cm

362 柯則堂主人 23.9—136

旅中萬緒日染記

写 文政4 (1821)

10丁 11.5×16cm 和

作者は金沢の人なるも不詳

363 広瀬旭荘 (謙) 23.9—137

梅 墩 詩 鈔

富田雨邨写

3冊 23.5cm 和

初編巻1・3, 三編巻1の3冊

364 広瀬淡窓 23.9—138

遠 思 楼 詩 鈔

富田雨邨写

43丁 22.5cm 和

初編上のみ

365 富田雨邨 (編) 23.9—139

旭荘石舟微雲在金城中詩

雨邨写

10丁 24cm 和

366 寺門 良 (静軒) 23.9—140

静 軒 詩 鈔

岡田威 (行山) 等編

富田雨邨写

47丁 25.5cm 和

原本成立, 天保9年 (1838)

367 稿 梧 塵 23.9—141

写 [明治初期]

39丁 24cm 和

維新前後から明治初期に至る各地の
詩人の作を集めたもの。78名135首
の内加賀藩関係者28人

368 漢 詩 抄 23.9—142

写

63丁 26cm

梅辻春樵、中島棕隠、梁川星巖らの
作の抄

- 369 [詩文抄] 23.9—143
 江戸 嵩山房
 富田雨邨写 明治初年
 3冊 16cm 和
 49丁 23.5cm 和
 図序高克正文，鈎詞，法書名家など
 17章
- 370 [漢詩写] 23.9—144
 写
 4枚 20×80cm
 内1枚は詩稿，1枚は戯作
- 371 六如(慈周) 23.9—145
 葛原詩話
 富田雨邨写
 47丁 23.5cm 和
 後編卷一のみ
- 372 袁枚 23.9—146
 随園詩話
 富田雨邨写 弘化1(1844)
 47丁 24cm 和
 弘化元年中島棕隠が来沢，随園詩話
 の講釈をした。その時の筆記。巻1
 のみ
- 373 旭荘先生講釈瀛奎律髓 23.9—147
 雨邨写
 17丁 26.5cm 和
- 374 [詩語字典] 23.9—148
 写
 24丁 8×17cm 和
- 375 詩經拔書 23.9—149
 写
 36丁 7.5×18cm 和
 詩經の字句の読み仮名
- 376 李攀龍(編) 23.9—150
 唐詩選
 服部南郭考訂
- 377 陸游(放翁) 23.9—151
 放翁先生詩鈔
 富田雨邨写
 18丁 24cm 和
- 378 康熙帝(玄暉) 23.9—152
 佩文齋耕織図詩
 富田松栄写 明治年間
 20丁 24cm 和
 別名「御製耕織図詩」「康熙耕織図
 詩」
- 379 [短冊] 一方 葉欄 23.9—153
 写
 1枚 36.5cm

参 考 品

1. 福神面(二重箱入り) 1面
檜材, 5.5×4.1cm
322一〔如柳酒蔵上棟福神面〕祝詞,
に附属するもの。
蓋表書「福神面」, 蓋裏書「宝永参曆
丙戌正月廿一日=酒土蔵於棟拾之同晦
日右為祝捧御酒」, 内底書「晦日に家
内祝申候」。
2. 梅花図板帙 雨邨筆 1組
桐材 24.5×17.5cm
3. 蓮如上人御旧跡御筆草 1包
外包上書「吉崎浦蓮如上人御旧跡御筆
草, 明治12年5月下旬長右衛門参
詣」。
4. 道中図扇子 ^{2枚}~~4本~~
金沢より江戸まで, および金沢から大
阪まで, を両面に刷る。
5. 謡曲一覽扇子 1本
欣栄軒主人(富田長右衛門)筆
6. 珠数掛桜花 1個
「珠数掛桜」は, 新潟県北蒲原郡京ヶ
瀬村小島, 梅護寺境内にある天然記念
物。

① 金沢江戸道中図扇面

② 金沢大坂道中図扇面

書 名 索 引

書名索引

書名索引

書名	図書番号	書名	図書番号
あ		あ	
朝顔培養法	176	易占揆方	10
〔預り金〕証	134	越登賀三州志	45
天草軍談・寛永南島変	354	〔江問万里書簡〕	347
〔荒井貫名書簡〕	344	遠思楼詩鈔	364
安楽集	31	燕台風雅人名録	229
い		お	
遺書	252	笈日記	275
〔板敷山内証の文〕	38	奥州多賀古城坪碑図等	236
一巡	305	往生要集	26
一順・可仙	298	往生礼讃偈・般舟讃	30
〔逸東宛書簡〕	76	大阪新報号外（明治37年8月30日）	5
〔祝の句〕	326	荻のしおり	272
印鑑簿	137	小沢松女のみさを	89
韻府一隅・仄韻部	222	をだまき大成	270
		おのおの手向	333
		女→によ	
う		か	
〔雨邨宛書簡〕	71	芥舟学画編人名録・山中人饒舌人名録	184
雨邨草稿〔漢詩〕	359	〔開店ちらし〕	180
雨邨草稿〔雑録〕	232	課役考	173
〔うねのや書簡〕	350	加越能三ヶ国村々名所附	99
産衣	273	加越能三州后妃皇子等御陵書上書	63
〔宇牧宛書簡〕	69	〔加賀三湖風景図断片〕	111
〔宇牧を悼む辞〕	331	加賀国山代温泉所全図	108
〔宇牧三十三回忌追悼句〕	336	賀婚	325
〔宇牧・椿堂歌仙〕	301	笠のかほり	337
馬賦	188	峨山逸話	39
〔運氣の説〕	151	〔貸付金中勘受取〕覚	128
え		華実年浪草目録・箋纏輪抜粹	274
永平寺二祖孤雲懷装禪師	90	〔春日社天神講俳諧一巡〕	304
		〔歌仙ちるほととの〕	302
		葛原詩話	371
		〔葛巻昌興有頼伝等〕	43

書名索引

河図・洛書の新研究	12
金沢為替商法両会社交名録	126
金沢別院沿革史	22
金沢墓誌	56
〔自金沢至江戸下街道々中案内〕	109
〔加能社寺縁起等〕	23
加能俳人誌	248
〔かの女俳句短冊〕	318
株式会社金沢米穀取引所沿革	181
花洛名勝図会	115
かりの行かひ	351
皮籠摺 坤の巻	277
為替会社規則	127
河内名所図絵抜粹	120
河内名所図会抜粹 下	119
菅家累譜	59
〔漢詩写〕	370
漢詩抄	368
感通方諸全	11
漢土名家一覽	57
観念阿弥陀仏相海三昧功德法門一卷	33

き

寄奇方記	164
畸人百人一首	243
狂歌俳諧四季之詠透逸統	228
〔郷土文人抄録〕	55
京名所道の枝折	114
旭窓石舟徹雲在金城中詩	365
旭窓先生講釈瀛奎律髓	373
去来抄	265
金言様入句	316
銀行簿記雑稿	133
金城三河考	96
銀鈔始終記	123
金城靈沢碑銘并叙	105
摺 摺 (きんせい)	230
摺 摺 雑誌	231

金百疋御目録	68
訓蒙図彙	3

く

九字之大事	27
口米考	171
〔句帳〕	309

け

経典余師	6
〔夏御文〕等	36
検地方一卷	167

こ

〔工芸家系図〕	65
稿悟塵	367
好求録	213
小謡概撰	198
公譜要略	61
〔高野旅行記〕	93
古易精義	9
古易病断上	8
〔極悪日之事〕	13
国譜捷選	58
湖月抄	353
児恋草	16
古今茶人系譜小伝附録	218
〔五十の賀の句〕	323
御巡行御行列並御供官員略表・御通筋拜	
見人心得	53
故事要言追増補	7
護身法大事	28
言 靈	224
こと葉の露	281
ことほぎ	327
御年譜	60

書名索引

白達摩 280
 秦曲拔萃 201
 新刻改正年数早見 41
 信州上田戦記附随筆諸談ほか 50
 真宗仮名聖教 34
 〔真宗聖教拔萃〕 35

す

随園詩話 372
 末森記 48
 数奇屋之図 214
 角力番附写 204

せ

静軒詩鈔 366
 正式伝 268
 聖上北陸御巡行 = 付下宿仰付候始終一件 52
 誓約神文〔控〕 208
 清流集 287
 昔日北華 356
 拙作 311
 摂津名所図会・和泉名所図会抜粹 118
 切脈小言 163
 世涼句集 296
 善光寺詣記 92
 千石以上御家敷様御鎗印并御紋御寺之覚 62
 前赤壁賦法帖膳本 187
 選択本願念仏集 29

そ

〔蒼虬書簡〕 340
 草字彙抜粹 195
 像前 251
 〔像前句控〕 253
 像前月次句 250
 僧侶方来信繫 24

叢林集 37
 副書 257
 俗説雑記 51
 素問集註 161
 存々成務 162

た

〔大常書簡〕 341
 大智偈頌 40
 対塔庵蒼虬翁伝 85
 対塔庵蒼虬句集 乾 286
 〔多年在職慰勞金交付状〕 131
 旅日記（山城大和めぐり） 77
 〔旅日記〕 78
 〔手向の句〕 332
 〔短冊〕一方薬欄 379
 〔短冊〕朴而健 206

ち

竹根談 217
 〔秩祿公債証書毀損につき取扱伺書〕 125
 痴童詩集 358
 茶雑記 175
 茶商記事 179
 茶湯客心得 221
 中国歴史年表 54
 〔超願寺書簡〕 70
 趙子昂書 190

つ

追善俳諧の連歌 334
 追悼〔句〕 335

て

庭訓往来 145

書名索引

貞丈雜記抜粹	44
摘 藻	233
手 帖	235
〔徹雲書状〕	25
天正十一年前田氏領地図	110
天正文祿慶長年間上様御能番組附文祿二 年御能番組	200
〔天徳院保存会設立趣意書〕	20
天保任寅元暦	155
天文講談聞書附天保十四暦	152

と

東海北陸山陽線主要駅間賃金表	183
〔棹江書簡〕	343
唐 詩 選	376
痘疹活幼心法	159
道中図扇子	参考品 4
〔徳田寛所漢詩短冊〕	361
〔徳田寛所詩稿〕	360
〔徳田寛所書簡〕	349
〔徳田寛所和歌短冊〕	240
〔年風書簡〕	342

な

那谷寺保存会設立趣意	21
苗代名義考	172
南京染付等香合位附	212

に

〔日露海戦三笠通信〕	72
日露両国通好史実摘要	144
〔日本名家一覽〕	227
〔入金通知書〕	135
〔女人ちえぶくろ〕	147
女用千尋浜	146

ね

〔年数早見表〕	42
---------	----

の

〔能楽家系図〕	66
能 楽 抜 萃	202
能久平古稀祝意茶事記	220
〔能稽古表〕	203
能 州 記	101
除銀仕法通	136
能登地名唱号考	102

は

俳 諧 米 屑 上	258
俳諧定座変体之図	271
俳諧すくろ	267
〔俳諧夏の月〕	299
俳諧二十五箇条講義	262
〔はいかいの大事〕	261
俳諧百一集	292
俳諧百一集序	293
俳諧〔文月の〕	300
俳家倚人談号名録抜萃	247
梅花図板帙	参考品 2
〔俳 句〕	310
梅室附合集	285
梅 墩 詩 鈔	363
佩文斎耕織図詩	378
白羽扇賦	191
白山→しらやま	
芭蕉翁俳諧	288
芭蕉翁発句解補	269
芭蕉翁発句集	282
はせを翁発句十六篇	263
〔芭蕉像を車大に譲る辞〕	249
〔巴石書簡〕	345

書名索引

洋貨図録	122	渡り鳥	291
謡曲一覽扇子	参考品 5		
〔横山居中俳句短冊〕	320		
横山歛業部定款及諸規則	166		
〔横山受来俳句短冊〕	319		
吉野名所記	95		
吉原細見	112		
余興行	306		
り			
略本暦	157		
柳子新論	14		
旅行日記	79		
旅行日記	81		
旅行日記	82		
旅中萬緒日染記	362		
〔林曹書簡〕	346		
臨池抄	186		
鱗鳳龜龍	193		
る			
類題発句集	289		
れ			
歴代滑稽伝	264		
連歌至要抄	259		
〔連句一巡〕	307		
〔連句鶯の背に〕	303		
〔連句君が代に〕	308		
蓮如上人御旧跡御筆草	参考品 3		
わ			
〔和歌歳旦ほか〕	242		
〔和漢書序跋目次版行抄〕	2		
和爾雅拔萃	225		

金沢市立図書館蔵

富田文庫目録

昭和52年 3 月 20 日 印刷

昭和52年 3 月 30 日 発行

編集・発行 金沢市立図書館

金沢市大手町 3-23

〒920 TEL 0762(21)1960

印刷 光陽印刷社

金沢市花里町 11-6

TEL (0762) 61-3772

(0762) 46-2754

特23 富田文庫 追加目録

金沢市立図書館

1. 哲学

宗教

- 380 法然上人一枚起請文 23.1-36
慶安2 [1649]
軸装 (87x27)
愚蒙叟 (増上寺36代祐天)
- 381 円如上人等法語 23.1-37
不
一枚 (32x24) 4点
- 382 徳山偈 23.1-38
不
一枚 (24x36)

2. 歴史・地理

伝記

- 383 林家(酒屋)由来記 23.2-81
安政5年2月望月 [1858]
袋綴 3丁
柿園良見 (森田平次)
- 384 富樫家譜 23.2-82
不
袋綴 3冊
①上之巻 富樫次郎任加賀介・富樫除加賀介・富樫為足利家幕下・富樫造立大乘寺
②中之巻 富樫与一向宗合戦・富樫家滅亡
③下之巻 越中国士戦争・能州畠山滅亡・加賀一揆退治・石動山破却并加越能城跡
- 385 和倉温泉吟行 23.2-83
丙戌(明治19年)10月19日 [1886]
卷子 (10x142)
徳田寛所

3. 社会科学

政治・経済

せんさ

- 386 暹羅国(外)經濟使節派遣_ニ付 23.3-29
送別会案内状
昭和11年2月12日 [1936]
切紙
暹羅協會会長公爵近衛文麿→富田亥之七
- 387 盆正月催物之記 23.3-30
不
一枚 (30×34) 2点

6. 産業

商業

- 388 広物帳 23.6-18
明治13年4月吉日 [1880]
一枚 (25×38) 48点
金沢金箔会社
- 389 米穀取引所開業祝詞 23.6-19
明治26年10月吉日 [1893]
一枚 (31×21)
富田雨邨 (6代館屋平七)
- 390 米穀商石碑建立記 23.6-20
明治35 [1902]
一枚・木版彩色 (21×57)
世話人 武田勇吉他13名
発起人 城沢清兵衛他6名
- 391 北陸銀行開業祝詞 23.6-21
不
一枚 (32×30)
富田長
- 392 欣栄堂額草 23.6-22
不
一枚 (117×40)
7代 富田長右衛門が上野町で営んだ茶商の名

7. 芸術

美術

- 393 蕨内宗 節分画賛 23.7-39
不
軸装 (27×51)
蕨内宗 (真々斎竹翁)
龔「口咄」藏入
- 394 富田老人画像 23.7-40
明治25年夏 [1892]
切紙・紙本墨画
富田老人 (6代 館屋平七)
- 395 松竹図 23.7-41
甲午2月 [聯27, 1894]
一枚・紙本墨画 (74×42)
万里真 / 画
「聯77観」 聯6代 館屋平七
- 396 芭蕉画像 23.7-42
明治37年晩夏 [1904]
一枚・彩色 (75×20)
暮柳舎甫立 / 賛
一松 (島野一松) / 書
- 397 農家布種之図 23.7-43
不
一枚・彩色 (24×51)
松窓 (7代富田長右衛門) / 賛
一松 (島野一松) / 画
- 398 小曾根乾堂等大家合作図 23.7-44
不
軸装・絹本墨画 (107×42)
(小曾根) 乾堂, 春江 他2名
- 399 観音之図 23.7-45
不
軸装・紙本墨画 (133×34)
天敬
- 400 鍾馗図 23.7-46
不
軸装・紙本墨画 (95×39)
望玉蟾
- 401 竹図 23.7-47
不
軸装・紙本墨画 (105×30)
一雲山人
- 402 小槌井宝珠図 23.7-48
不
軸装・木版 (32×46)
勇 / 作
三瀬淵藏
- 403 富嶽図 23.7-49
不
一枚・紙本墨画 (35×28) 3点
芙蓉
- 404 富嶽図 23.7-50
不
一枚・紙本墨画 3点
茂
①133×32 ②139×35 ③29×129
- 405 立雛図 23.7-51
不
軸装・印刷 (88×28)
秀峰
- 406 利休居士像 23.7-52
不
軸装・紙本墨画 (107×29)
- 407 人物馬上ノ画 23.7-53
不
軸装・紙本墨画 (87×45)

408 関雪しぐれ 不 軸装・紙本墨画 (126×28)	23.7-54	416 高田久左衛門英与筆跡 不 豎紙 4点 高田久左衛門英与	23.7-62
409 山水図 不 一枚・紙本彩色 (96×32)	23.7-55	417 松窓書 明治38年4月 [1905] 一枚 (56×35) 松窓 (7代富田長右衛門)	23.7-63
410 梅之図 不 一枚・紙本墨画 (58×25)	23.7-56	418 松窓書 不 一枚 (108×24) 松窓 (7代富田長右衛門)	23.7-64
411 草花図 不 一枚・紙本墨画 (87×30)	23.7-57	419 太白山人書 大正甲寅[癸3, 1914] 一枚 (38×83) 太白山人	23.7-65
<u>書</u>			
412 尊朝(澄)親王御筆 不 軸装・紙本墨書 (87×11) 尊朝(澄)親王 (後醍醐天皇皇子) 「藤天歌自天神」箱入り	23.7-58	420 慧勇書 庚辰仲夏 一枚 (122×35) 蓮湖環人曾遺弟慧勇	23.7-66
413 藪内宗 書跡 不 軸装・紙本墨書 (98×29) 藪内宗 (侍庵陽春) (真蹟) 藪内宗繪巻書状「一片好風光」箱入り 明治38年5月15日 [1905] 藪内宗・富田長右衛門	23.7-59	421 福田青山翁嬉字試筆 不 軸装・紙本墨書 (33×52) 福田青山	23.7-67
414 観月庵伏翼道人書 文化13年初冬 [1816] 一枚 (135×55) 6点 観月庵伏翼道人	23.7-60	422 中島久万吉書 不 一枚・絹本墨書 (37×126) 中島久万吉	23.7-68
415 養寿安互神幅 不 軸装・紙本墨書 (127×30) (市川) 遂庵	23.7-61	423 夢楽庵書 不 一枚 (34×90) 夢楽庵	23.7-69
		424 夢楽庵書 不 一枚 (34×105) 夢楽庵	23.7-70

425 夢楽庵書 不 一枚 (132×34) 夢楽庵	23.7-71	433 石翁書幅 不 軸装・紙本墨書 (70×30) 石翁	23.7-79
426 夢楽庵書 不 一枚 (34×132) 夢楽庵	23.7-72	<u>仮表装</u>	
427 夢楽庵書 不 一枚 (34×132) 夢楽庵	23.7-73	434 石翁書 不 一枚 (69×35) 石翁	23.7-80
428 素道書 不 一枚 (30×65) 2点 素道	23.7-74	435 石翁書 不 一枚 (60×48) 石翁	23.7-81
429 素道書 不 一枚 (34×33) 素道	23.7-75	436 芙蓉山人書 不 一枚 (34×106) 芙蓉山人	23.7-82
430 素道書 不 一枚 (30×130) 素道	23.7-76	437 芙蓉山人書 不 一枚 (34×107) 芙蓉山人	23.7-83
431 素道書 不 一枚 (35×94) 素道	23.7-77	438 芙蓉山人書 不 一枚 (104×34) 芙蓉山人	23.7-84
432 素道書 不 一枚 (30×129) 素道	23.7-78	439 教堂書 不 一枚 (138×34) 教堂	23.7-85
		440 教堂書 不 一枚 (34×138) 教堂	23.7-86

441 綬昭書 23.7-87
不
一枚 (83×11)
綬昭

442 孝胥書 23.7-88
不
一枚 (139×35)
孝胥

443 孔徳成書 23.7-89
不
一枚 (34×98)
孔徳成

444 天来道人書 23.7-90
不
一枚 (34×108)
天来道人

445 種忠書 23.7-91
不
一枚・印刷 (30×39)
種忠

芸能

446 宝生流謡曲本 23.7-92
嘉永癸丑5月 [嘉6,1853]
中本・木版 42冊
宝生太夫
内巻 20冊 外巻 22冊

447 宝生流謡本 23.7-93
大正10年9月5日-12年10月5日 [1921-3]
中本・石版 7冊
宝生九郎/著 わんや書店/発行
①藤 ②林 ③遊 ④波 ⑤戸 ⑥八 ⑦草

448 幸流小鼓手附書 23.7-94
大正14年11月5日 [1925]
中本・石版 35丁
三須平司/著 幸悟朗/校閲
椀屋書店/発行

9. 文学

和歌

449 宗良親王和歌 23.9-154
不
軸装 (32×15)
宗良親王
宗良親王=尊朝親王(後醍醐天皇の皇子)。 塗箱入り

450 尊朝(澄)親王和歌 23.9-155
不
卷子 (540×34)
尊朝親王

451 後柏原院和歌短冊 23.9-156
不
短冊
後柏原天皇
古筆了生(季山)の極細村, 塗箱入, 短冊附

452 後陽成院和歌短冊 23.9-157
不
短冊
後陽成天皇
古筆了生(季山)の極細村, No451と同箱入

453 飛鳥井雅章和歌 23.9-158
不
軸装 (15×41)
飛鳥井雅章
緞

454 貫名和歌短冊 23.9-159
不
短冊
貫名(荒井和平)

455 貫名和歌短冊 23.9-160
不
短冊
貫名(荒井和平)

456 条満和歌短冊 不 短冊 条満 (大伴義左衛門)	23.9-161	464 小野小町和歌 不 一枚・印刷 (21×26) 小野小町	23.9-169
457 長親和歌短冊寒竹 不 短冊 清岡長親	23.9-162	465 晃和歌短冊歳旦 不 短冊 晃 (6代館屋平七)	23.9-170
458 致淵和歌短冊郭公 不 短冊 致淵	23.9-163	466 徳田君追悼歌短冊 不 短冊 富田老人 (6代館屋平七)	23.9-171
459 御杖和歌短冊 不 短冊 御杖	23.9-164	467 雨邨狂歌 不 一枚 4点 富田老人 (6代館屋平七) ①20×24 ②21×24 ③20×11 ④32×8	23.9-172
460 御杖和歌短冊侍郭公 不 短冊 御杖	23.9-165	468 雨筆和歌 昭和38年春 [1963] 一枚 (29×21) 雨筆 (8代富田亥七)	23.9-173
461 呑海和歌 不 一枚 (33×24) 呑海	23.9-166	469 雨筆和歌 不 一枚・彩色 (23×50) 雨筆 (8代富田亥七) / 書 一松 (島野一松) / 画	23.9-174
462 方子和歌短冊初秋露 不 短冊 方子	23.9-167	470 狂歌 不 一枚 (28×47) 不	23.9-175
463 和歌短冊江天暮春 不 短冊 不	23.9-168		

俳句

- | | | | |
|--|----------|---------------------------------------|----------|
| 471 飲酒一杯起請文
17日
軸装 (16×56)
はせお (松尾芭蕉) →其角 | 23.9-176 | 476 翠雲短冊
不
短冊
翠雲 | 23.9-181 |
| 472 (坂尻屋)草婦人珈涼俳句
不
軸装 (92×21)
(坂尻屋)珈涼 | 23.9-177 | 477 如本俳句短冊
不
短冊
如本 (2代館屋權兵衛) | 23.9-182 |
| 473 歳旦
木版・彩色 7点
(加賀大聖寺一石菴連)
①天保辛卯 [禄2,1831] 40×56
護物 _紙 南嶺/画
②天保3年冬 [1832] 19×52
素洞 _紙 文口/画
③明治2年春 [1869] 39×52
嵐希 _紙 応真齊/画
④明治壬辰冬 [曆25,1892] 36×12
羽洲 _紙 苔石/画
⑤不 40×53
素羅 _紙 口口/画
⑥不 19×52
賢外 _紙 古佛/画
⑦不 36×42
木雄 _紙 応年/画 | 23.9-178 | 478 世涼俳句短冊
不
短冊
世涼 (4代館屋權兵衛) | 23.9-183 |
| 474 田青護俳句
不
一枚・彩色 (102×30)
田青護 | 23.9-179 | 479 宇牧俳句短冊
不
短冊
宇牧 (5代館屋權兵衛) | 23.9-184 |
| 475 松琴短冊
不
短冊
松琴 | 23.9-180 | 480 宇牧俳句短冊
不
短冊
宇牧 (5代館屋權兵衛) | 23.9-185 |
| | | 481 宇牧俳句短冊
不
短冊
宇牧 (5代館屋權兵衛) | 23.9-186 |
| | | 482 宇牧俳句短冊
不
短冊
宇牧 (5代館屋權兵衛) | 23.9-187 |
| | | 483 宇牧俳句短冊
不
短冊
宇牧 (5代館屋權兵衛) | 23.9-188 |

484 宇牧俳句短冊 23.9-189
不
短冊
宇牧 (5代館屋権兵衛)

485 宇牧俳句短冊 23.9-190
不
短冊
宇牧 (5代館屋権兵衛)

486 (宇牧)俳句短冊 23.9-191
不
短冊
宇牧 (5代館屋権兵衛)

487 (宇牧)俳句短冊 23.9-192
不
短冊
宇牧 (5代館屋権兵衛)

488 (宇牧)俳句短冊 23.9-193
不
短冊
宇牧 (5代館屋権兵衛)

489 (宇牧)俳句短冊 23.9-194
不
短冊
宇牧 (5代館屋権兵衛)

490 雨邨短冊春雨 23.9-195
不
短冊 2点
雨邨 (6代館屋平七)

書簡

491 荒木貞夫書簡 23.9-196
1月15日
罫紙
荒木貞夫→牟田口廉也

その他 日本文学

492 後水尾院御手蹟徒然草 23.9-197
不
胡蝶装 2冊
後水尾天皇
燧斎の亂 勸

493 平家物語 23.9-198
寛文12年6月吉日 [1672]
中本・木版 12冊
堺屋勝兵衛, 美濃田新左衛門/開版

494 百人一首図絵 23.9-199
文政5年3月 [1822]
中本・木版 3冊
田山敬儀/註釈
江戸書林 須原屋茂兵衛, 浪華書林 多田
勘兵衛 他4人/刊
敷 文化4年帳陶[1807]

495 新古今和歌集聞書 23.9-200
不
中本・木版 4冊
東常縁講/著 細川幽斉/補

496 国性爺合戦 23.9-201
不
中本・木版 103丁
近松門左衛門/著 竹本義太夫/直伝
大阪 玉水源次郎/板

497 兼好徒然草之記 23.9-202
不
一枚 (32×126)

漢詩

- 498 德田寬所七言絶句 23.9-203
丁丑年新年 [聯10, 1877]
一枚 (138×32)
德田寬所
- 499 德田寬所七言律詩 23.9-204
丁丑年6月 [聯10, 1877]
一枚 (139×32)
寬所髣叟 (德田寬所)
- 500 德田寬所七言律詩 23.9-205
明治11年新年 [1878]
一枚 (32×52)
寬所髣叟 (德田寬所)
- 501 德田寬所七言絶句 23.9-206
癸未元日 [聯16, 1883]
一枚 (113×32)
寬所髣叟 (德田寬所)
- 502 梅懷逸人七言絶句 23.9-207
昭和丁亥年 [聯22, 1947]
一枚 (132×29)
梅懷逸人
- 503 小曾根乾堂四言絶句 23.9-208
不
軸装 (109×29)
小曾根乾堂
- 504 李龍五言絶句 23.9-209
不
一枚 (30×125)
二岳老人 (2代橋觀齊)
- 505 贈萃翁陳老堂翁大人帰里俚語幅 23.9-210
不
軸装・絹本墨書 (32×152)
胡若宏_註10名

- 506 鼎遺漢詩幅 23.9-211
不
軸装・紙本墨書 (66×29)
鼎遺
- 507 越治郎平漢詩 23.9-212
不
扇面
金沢市青草町 越治郎平
- 508 素道七言絶句 23.9-213
不
一枚 (134×32)
素道
- 509 素道七言律詩 23.9-214
不
一枚 (134×32)
素道
- 510 東坡詩 23.9-215
不
一枚 (24×18) 2点
遊記山人
- 511 七言絶句 23.9-216
歲旦
一枚 (91×36)
- 512 諸家手跡詩歌 23.9-217
不
袋綴 80丁
- 513 七言絶句 23.9-218
不
一枚 (27×29)
- 514 七言絶句 23.9-219
不
扇面

515 五言絶句 不 一枚 (40×20)	23.9-220	523 雨邨五言絶句 甲午孟春 [嘯27,1894] 一枚 (36×38) 雨邨 (6代館屋平七)	23.9-228
516 雨邨七言絶句 辰孟春 [嘯25,1892] 一枚 (46×17) 富田老人 (6代館屋平七)	23.9-221	524 雨邨七言絶句 [明治29,1896] 一枚 (34×30) 富田 (雨邨) (6代館屋平七)	23.9-229
517 雨邨七言絶句 明治26年孟春 [1893] 一枚 (41×16) 雨邨 (6代館屋平七)	23.9-222	525 晃七言絶句 辰年歳旦 一枚 (20×30) 富田晃 (6代館屋平七)	23.9-230
518 雨邨七言絶句 明治26年巳春 [1893] 一枚 (42×16) 富田雨邨 (6代館屋平七)	23.9-223	526 万里江真君見寄等詩 不 一枚 6点 富田雨邨 (6代館屋平七) ①20×92 ②20×39 ③20×41 ④20×31 ⑤20×26 ⑥20×19	23.9-231
519 福神面に寄せる詩 明治26年春 [1893] 一枚 (20×39) 富田雨村 (6代館屋平七)	23.9-224	527 雨邨七言絶句 不 一枚 (20×34) 富田雨邨 (6代館屋平七)	23.9-232
520 雨村漢詩 明治26年10月吉日 [1893] 一枚 (89×35) 12点 富田雨村 (6代館屋平七)	23.9-225	528 雨邨七言絶句 不 一枚 (20×22) 雨邨 (6代館屋平七)	23.9-233
521 雨村漢詩 明治26年10月吉日 [1893] 一枚 (91×36) 4点 富田雨村 (6代館屋平七)	23.9-226	529 雨邨七言絶句 不 一枚 (31×18) 雨邨晃 (6代館屋平七)	23.9-234
522 雨村漢詩 明治27年1月吉日 [1894] 扇面 富田雨村 (6代館屋平七)	23.9-227	530 雨村七言絶句 不 一枚 (42×16) 雨村 (6代館屋平七)	23.9-235

- | | | | |
|--|----------|--|----------|
| 531 雨邨七言絕句
不
一枚 (42×16)
雨邨陳人 (6代館屋平七) | 23.9-236 | 539 松窓漢詩
明治38年4月 [1905]
一枚 (88×27)
松窓 (7代富田長右衛門) | 23.9-244 |
| 532 富田陳人七言絕句
不
一枚 (26×21)
富田陳人 (6代館屋平七) | 23.9-237 | 540 松窓漢詩
明治38年4月 [1905]
一枚 (94×36) 6点
松窓 (7代富田長右衛門) | 23.9-245 |
| 533 晃七言絕句
不
一枚 (20×22)
晃 (6代館屋平七) | 23.9-238 | 541 松窓七言絕句
不
一枚 (56×35)
松窓 (7代富田長右衛門) | 23.9-246 |
| 534 雨邨七言律詩
不
一枚 (28×40)
富田老人 (6代館屋平七) | 23.9-239 | 542 松窓七言絕句
不
一枚 (63×20)
松窓 (7代富田長右衛門) | 23.9-247 |
| 535 雨邨五言律詩
不
一枚 (42×16)
雨邨 (6代館屋平七) | 23.9-240 | 543 松窓七言絕句
不
一枚 (93×27)
松窓 (7代富田長右衛門) | 23.9-248 |
| 536 雨邨五言律詩
不
一枚 (36×35)
富田雨邨 (6代館屋平七) | 23.9-241 | 544 淵明五言絕句
不
一枚 (63×20)
松窓 (7代富田長右衛門) | 23.9-249 |
| 537 晃五言律詩
不
一枚 (130×30)
晃 (6代館屋平七) | 23.9-242 | 545 録如々道人漢詩
不
一枚 (56×40)
松窓 (7代富田長右衛門) | 23.9-250 |
| 538 松窓七言絕句
戊戌夏 [聯31, 1898]
扇面
松窓 (7代富田長右衛門) | 23.9-243 | | |

[参考品]

- | | |
|------------|--------|
| 7. 香盒 | 1点 |
| 宗良親王遺品 | |
| 8. 図引道具一式 | 14点 |
| 9. 分銅 | 13点 |
| 袋入 | |
| ・100匁 | 2点 |
| ・50匁 | 3点 |
| ・20匁 | 1点 |
| ・13匁 | 1点 |
| ・10匁 | 1点 |
| ・5匁 | 1点 |
| ・4匁 | 1点 |
| ・3匁 | 1点 |
| ・2匁 | 1点 |
| ・1匁 | 1点 |
| 10. 小柄 | 5点 |
| 銘「泉国藤原国貞」 | |
| 11. 印章 | 4点 |
| ・石材 | 2点 |
| ・金材 | 2点 |
| 12. 銅鏡 | 3点 |
| ①円鏡 | 12cm |
| 伊勢守/作 | |
| ②円鏡 | 15cm |
| ③長鏡 | 18×8cm |
| 岩崎和泉藤原義政/作 | |
| 13. 台座 | 1点 |
| 14. 打敷 | 9点 |
| 布製 | |

平成 6年 3月31日

編集・発行

金 沢 市 立 図 書 館

金 沢 市 玉 川 町 2 番 20 号

〒 920 ☎ 0762-21-1960(代)